

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 東北地区予選



熊谷雄一市長（左から3人目）を囲み、全国大会への意気込みを示す
八戸学院大男子サッカー部の選手ら

八学大2連覇

全国8強へ意気込み

9月2〜12日に岩手、宮城の両県で開かれる総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに、八戸学院大男子サッカー部が2年連続で出場する。東北地区予選では安定した試合運びで2連覇を達成。初めて挑んだ昨年は1回戦敗退を喫しており、チームは雪辱とともに、目標に掲げる8強入りへ向けて士気を高めている。（小嶋嘉文）

20チームが出場した東北地区予選は、6月に秋田県で開催された。八学大は初戦の2回戦、準々決勝を大勝。準決勝では昨年の決勝でも対戦した強豪富士大学を1-0で下すと、決勝では東北学院大を2-1で破り、全国への切符を手に入れた。

岩手県生監督らは25日、八戸市庁の熊谷雄一市長を訪れ、全国大会出場を報告。熊谷市長は「これまでの練習の成果を発揮し、ベスト8に向けて頑張ってきてほしい」とエールを送った。主将の菊池遥大さん（20）は「昨年は悔しい思いをしたので、一つでも多く勝てよう、チーム一丸となって頑張りたい」、副主将を務めるエースストライカーの柴田龍牙さん（21）は「プロ選手になるという夢につなげられるような活躍を見せたい」とそれぞれ意気込みを語った。

チームは、2日に岩手県遠野市国体記念公園市民サッカー場で、北信越代表の北陸大との初戦を迎える。